

7 札幌市スポーツ推進計画改定版(案)に対する市民意見

札幌市スポーツ推進計画改定版(案)について、パブリックコメントを実施し、市民の皆さんからのご意見を募集しました。

1 パブリックコメントの概要

(1) 意見募集期間

平成31年(2019年)3月18日(月)～4月16日(火) 30日間

(2) 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール、ホームページ、持参

(3) 資料の配布、閲覧場所

ア 札幌市スポーツ局スポーツ部企画事業課(北1西3 ばらと北一条ビル6階)

イ 札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー

ウ 各区役所(総務企画課広聴係)

エ 各まちづくりセンター

2 パブリックコメントの内訳

(1) 意見提出者数・意見件数

6人・19件

(2) 年代別内訳

40代:1人(1件) 50代:1人(6件) 60代:3人(9件) 不明:1人(3件)

(3) 提出方法別内訳

FAX:3人 電子メール:1人 ホームページ:2人

(4) 項目別意見数

ア 第3章 スポーツを取り巻く現状と課題 4件

イ 第5章 目標達成に向けた方針・施策 11件

ウ その他 4件

3 意見の概要と札幌市の考え方

第3章 スポーツを取り巻く現状と課題

No.	意見の概要	札幌市の考え方
1	30代、40代のスポーツ実施率の低下は、体育振興会にとっては、将来の運営が不安視される重要な問題である。	30代、40代のスポーツ実施率の低迷は課題と認識しています。今後は、ビジネスパーソンや子育て世代においても、スポーツに取り組みやすい環境づくりを進めてまいります。
2	「各区や地域単位で実施するスポーツイベントの開催や支援を行っていくことが重要」とあるが、どのような支援を行うのか。	P51の方針3の施策6や施策7のように、地域におけるスポーツ活動の支援や、スポーツを支える人材の育成などを行ってまいります。
3	国が掲げる「一億総スポーツ社会」は、国民にスポーツを行うことを強制するよう見え、スポーツに興味のない人にとっては迷惑な標語である。	「一億総スポーツ社会」の実現は、多面に渡るスポーツの価値を広め、すべての人々が「する」だけでなく、「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに参加できるようにしていくことが重要と考えており、スポーツを行うことを強制するものではありません。
4	東京五輪の開催経費では、当初の試算額から大幅に増加するなど経理内容が不透明に感じる。 冬季五輪も前回開催時とは異なり、競技種目数が多く商業イベントでしかないことから、開催のために巨額の税金を投入するのは反対である。	オリンピック・パラリンピックの招致にあたっては、単なる一過性のイベントに終わらせることなく、世界に誇るウインタースポーツ都市としてのブランド向上や共生社会の実現、次世代に残していくための施設整備など、将来の札幌のまちづくりに資するものになりたいと考えています。 今後も、市民の皆さまの理解と協力が得られるよう、さらなる財政負担の削減と透明性の向上に努めてまいります。

第5章 目標達成に向けた方針・施策

No.	意見の概要	札幌市の考え方
5	地域スポーツ指導者の中学校への派遣について、スキー学習への派遣だけではなく、他のスポーツにも広げてはどうか。	スキー授業への派遣が主ですが、クロスカントリーやスケートへの派遣も行っております。今後も学校側のニーズを踏まえながら、子どものスポーツ活動の機会の充実を図ってまいります。
6	市内には参加費無料で市民の健康増進や体力維持につながる有意義な催しを行っている団体がある。このような市民に貢献している「民の組織」を、しっかりと応援してほしい。	ご意見のとおり、スポーツを振興していく上では、札幌市のみならず、市民やスポーツ関係団体、そして企業など様々な主体との連携が重要であり、スポーツ推進計画の取組については、これらの主体と協働して進めていきたいと考えております。
7	ウインタースポーツ塾に札幌市が考案したスノーホッケーが入っていない。全市をあげて普及活動してほしい。	スノーホッケーはウインタースポーツ塾の種目として採用しておりませんが、札幌市では、スノーホッケーを含めたウインタースポーツの普及振興に努めてまいります。
8	スポーツを通じた健康増進について、運動は程々が好ましく、健康面からも無理に競技を押し付けるべきではない。	スポーツは継続的に行うことで、体力の向上や健康の増進が期待できます。市民それぞれの力量や健康状態などに応じて適度に行うものと考えております。
9	地域のスポーツ活動の活性化のため、体育振興会への「助言・指導を行う」とあるが、どのような人が行うのか。	札幌市が、体育振興会など地域スポーツクラブとしての役割を担う団体に対して、講習会講師の紹介や利用可能な助成制度の紹介などのサポートを行ってまいります。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
10	海外でのオリンピックやアジア大会では有償ボランティアの比率が高いが、スポーツボランティア「スマイル・サポーターズ」は有償なのか。 また、ボランティア活動は自発的なものであることから、「スマイル・サポーターズ」のように組織化することには反対である。	「スマイル・サポーターズ」には報酬はありませんが、イベント主催者の意向により交通費や活動経費が支給となる場合があります。また、「スマイル・サポーターズ」の皆さまに対しては、スポーツイベントごとに活動していただける方を募集し、自発的に参加される方にご協力いただいております。
11	「スマイル・サポーターズ」の派遣先に各地域のスポーツイベントを入れてはどうか	各地域で開催されるスポーツイベントの情報についても「さっぽろグローバルスポーツコミッション」のホームページに掲載し、「スマイル・サポーターズ」の募集を行っており派遣対象としております。
12	過去に教育委員会が主となり実施していた「スポーツリーダー講習会」を再開してほしい。スポーツ推進委員、体育振興会、町内会の体育部員を対象に地域のスポーツを「ささえる」ための人材育成をしてほしい。	札幌市では、計画P52の施策7のように、地域のスポーツを支える人材の育成に努めているほか、各競技団体においても、指導者などの支える人材を対象とした講習会を実施していますので、これらの機会を活用して、地域のスポーツを支える人材の育成に努めてまいります。
13	トップアスリートに選ばれるのは一握りであり、トップアスリートになれない多くの選手を生み出してしまふ。 トップアスリートになれない多くの選手達の受け入れ先が少ないことから、アスリートの育成支援には反対である。	地元出身のアスリート輩出は、地元の誇りにもなり、市民がスポーツに取り組もうとする動機にもつながると考えております。 また、札幌市では、一線を退いたアスリートのセカンドキャリアを活用しながら、選手育成や競技力向上を図ることで、次世代のアスリートの育成へとつながる好循環を目指してまいります。
14	健常者が障がい者スポーツに接する機会が少ないので、障がい者スポーツ大会等にもスポーツボランティアを派遣してはどうか。	2019年に札幌で開催されたワールドパラノルディックスキーワールドカップや、平昌オリンピック・パラリンピックの開催期間中に地下歩行空間で行われたパラスポーツイベントにも、運営補助などのために「スマイル・サポーターズ」を派遣しております。 引き続き、障がい者スポーツ大会等への派遣も行なってまいります。
15	冬季版ハイパフォーマンスセンターのような箱物施設を造るのではなく、チームドクターや医療アドバイザーのスタッフ班を配置するだけでよい。	様々な冬季競技のアスリートや競技団体から、スポーツ科学・医学・情報を取り入れたトレーニングや合宿、競技を超えたコミュニケーション等が自由に行える活動拠点として冬季版ハイパフォーマンスセンターの設置を求める声が寄せられています。冬季オリンピック・パラリンピック招致を目指す札幌市として、ウインタースポーツの振興や競技力向上のためにも誘致に向けて取り組んでいきたいと考えています。

その他

No.	意見の概要	札幌市の考え方
16	スポーツに参加したくても化学物質過敏症のため香料成分で体調を崩してしまう。そういう人でもスポーツに参加できるように、体育館の利用時間や観覧席を分けてほしい。	柔軟剤などのおいにより様々な症状に苦しんでいる方がいるという事象については、札幌市ホームページ等を通じて「香りのエチケット」に関する普及啓発を行っているところです。 今後も国や他自治体の動向などを注視してまいります。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
17	札幌市の体育館の利用料金が他の市町村と比較して高いので、引き下げを希望する。 その分高齢者の料金を引き上げてほしいので、若い人がもっと利用しやすい価格を設定してほしい。	若い世代のスポーツ実施率を高めていくことは今後の課題であると認識しており、札幌市では、小中学生の体育館及びプールの利用料金を無料としています。いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
18	一部の体育館では施設管理が行き届いておらず、利用者が冬期間の除雪をしたりするなど、善意で施設管理をしている場合がある。利用料金に見合う快適な施設の維持管理を希望する。	ご意見のとおり、施設の維持管理は施設管理者が行うべきものであり、今後は適正な施設管理に努めてまいります。
19	大規模スポーツイベント開催にかかるイベント費用は施設の充実や利用促進に使用してほしい。	大規模スポーツイベントの開催は、市民がトップスポーツに触れる機会を創出するとともに、都市ブランドの向上にもつながっていくものです。大会開催によるレガシーを活用して札幌の魅力を一層高めてまいりたいと考えております。

4 計画案の修正

パブリックコメントに寄せられた意見を踏まえ、以下の修正を行いました。

修正箇所	修正前	修正後
P51 第5章 方針3 施策6	(1) 地域におけるスポーツ活動の支援 具体的な取組 ・ 地域スポーツクラブの活動支援 地域スポーツクラブとしての役割を担う体育振興会の活動を支援し、講習会講師の紹介や利用可能な助成制度の情報提供などの協力を行うとともに、体育振興会主催のイベントが活発に行なわれるよう、助言・指導を行うことで、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。	(1) 地域におけるスポーツ活動の支援 具体的な取組 ・ 地域スポーツクラブの活動支援 体育振興会など地域スポーツクラブとしての役割を担う団体に対して、札幌市が講習会講師の紹介や利用可能な助成制度の情報提供などの協力をを行うとともに、地域におけるスポーツイベントが活発に行なわれるよう、必要に応じて、助言や指導を行うことで、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。